

高崎に古着リサイクル店

ドンドン
県内4店目

古着リサイクル店を全国展開するドンドンアップ(盛岡市、岡本昭史社長)は12月1日、高崎市江木町の高崎環状線沿いに「ドンドンダウン オン オン ウェンズデイ高崎店」を開業する。県内4店目のフランチャイズ(F.C.)店で、店舗網の拡大を図る。

高崎店は総合リサイクルショップ「再楽館」「再樂リプラス」を展開するシーライ・アイ・シー

(C.I.C.、高崎市東貝沢町、太田伸一社長)が運営。C.I.C.は奈良など3県の再楽リプラスのインショップでドンドンダウンをF.C.展開しているが、高崎店は初の単独店舗。

売り場面積は約490平方メートル。古着やバッグ、靴、服飾雑貨のほか、C.I.C.の強みを生かして高級ブランドバッグや時計、ジュエリー、金・プラチナなど幅広い品ぞろえにする。

本格開業に先立ち、10日から先行買い取りを行っている。

ドンドンアップは1991年創業。2005年に青森県八戸市に1号店を開業。近年は都市部の商業施設などに出店している。ドンドンダウンは、毎週水曜に全ての商品を値下げする独自販売システムを採用。買取りも安い、店頭に出せない商品などは東南アジアやアフリカに輸出し再活用している。現在、全国で59店(直営14店)を展開。